

第 3 回	身体の支持と運動 1 ー骨格と骨格筋ー
第 4 回	身体の支持と運動 2 ー上肢・下肢の骨格と筋ー
第 5 回	身体の支持と運動 3 ー頭頸部の骨格と筋ー
第 6 回	身体の支持と運動 4 ー筋の収縮ー
第 7 回	呼吸と血液の働き 1 ー呼吸器の構造ー
第 8 回	呼吸と血液の働き 2 ー呼吸器ー
第 9 回	呼吸と血液の働き 3 ー血液ー
第 10 回	血液の循環とその調節 1 ー心臓の構造と機能ー
第 11 回	血液の循環とその調節 2 ー末梢循環系の構造ー
第 12 回	血液の循環とその調節 3 ー血液の循環調節、リンパとリンパ管ー
第 13 回	体液の調節と尿の生成 1 ー腎臓の構造と機能ー
第 14 回	体液の調節と尿の生成 2 ー排尿路ー
第 15 回	体液の調節と尿の生成 3 ー体液の調節ー
テキスト	坂井建雄他 系統看護学講座専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能1 (医学書院)
参考図書・ 教材／デー タベース・ 雑誌等の紹 介	坂井建雄他監訳 「プロメテウス 解剖学アトラス」(医学書院) 小澤静司他監修 「標準生理学」(医学書院) 藤田恒夫他著 「標準組織学 総論」「標準組織学 各論」(医学書院) 坂井建雄他訳 「カラーアトラス 顕微鏡写真で見る細胞組織学」(メディカル・サイエンス・イ ンターナショナル) 小学館の図巻 NE0 「人間 いのちの歴史」(小学館)
課題に対す るフィード バックの方 法	授業の終わりに毎回小テスト(評価対象としない)を行い、授業の中でそれについての解説を行 う。
学生へのメ ッセージ・ コメント	特になし ・講義では配布資料を配ります。配布資料は教科書の図の説明です。配布資料を忘れても教科書に 書き込めばカバーできるようになっています。 ・講義や実習内容の中で興味を持った事柄について、まずは教科書をよく読み、キーワードの周辺

にそれを理解する説明があるかどうかを探してください。その他、参考書を読んだり、インターネットで調べたりといった「自学自習」の習慣を身につけてください。

・インターネットを使って検索するというのは重要なスキルではありますが、最初から検索しないよう心掛けてください。

